

上信自動車道(吾妻西バイパス) 政策1 災害レジリエンスNo.1の実現
 バイパス整備事業 施策3: 防災インフラの整備 (中長期レジリエンス戦略)

事業概要

- 所在地: 東吾妻町厚田~松谷
- 路線名: 国道145号
- 事業内容: 延長約7,000m 幅員10.5m
- 全体事業費: 約169億円
- 事業期間: 平成21年度~令和5年度(15年間)
- 緊急輸送道路: 該当(第一次緊急輸送道路)
- 現在の交通量(H27): 11,779台/日(現道_国道145号)
- 計画交通量(R12): 8,800~12,200台/日(バイパス)
 6,100~7,800台/日(現道_国道145号)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくります

地元の声

- ・吾妻は災害で交通止めとなると陸の孤島になるため早く整備してほしい。(地元住民)
- ・広域交通、観光地へのアクセスを改善してほしい。(地元住民)

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
急傾斜地崩壊危険区域	3箇所	バイパス完成により回避
所用時間(渋川伊香保IC~草津)	約1時間30分	約1時間(30分短縮)

実施前

◆現道の国道145号は斜面崩壊の発生箇所や急傾斜地崩壊危険区域が存在し、緊急輸送道路でありながら、災害時に通行止めとなる危険性があります。



実施後

- ◆国道145号の危険箇所を回避するとともに、災害時の代替路となる新たな道路ネットワークが確保されます。
- ◆また、高速道路に準じた構造の道路が整備されることで、速達性と定時性の高い走行が可能となり、移動時間が短縮されます。



事業の進捗状況(R3年3月現在)



今、何をしているか

令和3年度は、岩下~松谷地区の橋梁架設工事をはじめ、工区全体で土砂掘削工事や盛土(擁壁)工事、ボックスカルバート築造工事などを進めます。

事業のすすみ具合

